

公益社団法人日本新体操連盟

令和2年度第1回理事会議事録

1. 会議名： 令和2年度第1回理事会
2. 日時： 令和2年6月11日（木）16時00分～17時00分
3. 場所： Web会議
4. 構成員現在数： 15名
5. 出席役員： 石崎 朔子（副会長）熊谷 正儀（副会長）関田史保子（副会長）
池田真喜子（専務理事）山崎 浩子（常務理事）渡辺 守成（常務理事）
秋山エリカ（理事）崇島 慎一（理事）谷口 裕代（理事）
橋本 千波（理事）宮嶋 泰子（理事）村田 愛子（理事）
守永 直人（理事）
以上13名
6. 欠席役員： 二木 英徳（会長）谷原 誠（理事）小島浩二郎（監事）
以上3名
7. 議案：
決議事項
第1号議案 令和元年度第1回総会について（定款第4章関連事項）
第2号議案 その他
8. 議事の経過及び結果

(1) 議長による開会宣言

二木英徳会長が欠席のため、石崎朔子副会長が議長をつとめ、開会宣言を行った。

(2) 議事録署名人の選出

石崎朔子副会長、熊谷正儀副会著、関田史保子副会長にする事を議場に諮り承認された。

(3) 定足数の確認

定款第31条の定めにより、理事会出席者数が13名であることが守永直人理事より告げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。

(4) あいさつ

議長は昨今の状況によりWebで会議すること、総会の内容を確認することなどを挨拶とした。

(5) 議決事項

第1号議案 令和2年度第1回総会について（定款第4章関連事項）

議長は説明者として守永直人理事を指名し、守永理事は下記内容の説明を行った。

1. 報告総会を令和2年6月25日にWeb会議で開催予定。総会内容を決議したい。

2. 年間スケジュールについて

新型コロナウイルスの影響で、計画していた3月の総会を中止とした。それ以外は予定通り開催した。

3. 令和元年度登録状況報告について

令和元年度は

加盟団体数	577 団体
登録選手数	8,801 名
愛好者数	29,987 名
審判員数	1,254 名
指導者数	1,450 名

であった。

4. 各種事業について

「第28回全日本新体操クラブ選手権」を8月16日から18日に「高崎アリーナ」にて開催した。参加数は252クラブ756名の過去最高の参加数であった。お盆休みという開催時期が増加の要因と思われる。

「第19回全日本新体操クラブ団体選手権」を8月30日から9月1日に「高崎アリーナ」にて開催した。参加数は過去最高の232クラブ1327名であった。これも開催時期が夏休みであったこと、徒手団体を始めたことが要因と思われる。

「イオンカップ2019世界新体操クラブ選手権」を10月25日から27日に同じく「高崎アリーナ」にて開催した。参加数は19か国21チームであった。最終日には満員の観衆を集めた。

「第22回全日本新体操チャイルド選手権」「第19回全日本新体操キッズコンテスト」を2月21日から23日に「高崎アリーナ」にて開催した。新型コロナウイルスの影響が出始めていたころの開催であり、対策をとって開催した。コロナ理由の棄権は3名だけで、参加数は394クラブ854名であった。

コロナウイルス感染者を出さずに無事大会を開催できた。

(質疑・意見)

特に質疑・意見はなかった。

5. 令和元年度収支決算について

予算と違いの出ているところを説明した。

6. 国内大会について

国内大会は前出の説明の通り参加者が増え、クラブ選手権1683万9602円、団体選手権1481万7818円、チャイルド選手権2062万8361円の収入となった。ただし、支出においても、消費増税、参加者が増えた分審判員増加、体育館利用の増加など経費もかさみクラブ選手権1631万7553円、団体選手権1342万9575円、チャイルド選手権1908万9788円の支出となり、予算より増加したが、各大会で見ると黒字にすることができた。

7. 国際大会について

イオンカップでは、消費増税、招待チームの渡航フライト費用、宿泊単価増、国際基準の大会運営、設備等の結果経費がかさみ、予算では600万円ほどの黒字の予定が、200万ほどと減収になった。

8. 渡辺常務理事は朝日新聞、笹川財団、富士通などで何度か講演を依頼された。その講演料を新体操連盟に寄付していただいたことから、収入に貢献する形となった。

9. その他はほぼ予算通りとなったが、イオンカップの減収分が響き、収入3億4016万5780円、事業支出、管理費支出あわせ、3億4113万5921円の支出、97万141円の年度赤字となった。

10. 貸借対照表では、流動資産1221万3233円、固定資産2162万4056円で資産合計3383万7289円。流動負債が645万7832円。正味財産が2737万9457円となった。

11. 小島監事からも監査を受け、適合と認められた。

(質疑・意見)

特に質疑・意見はなかった。

12. 定款変更について

基本財産を取り崩したい旨の提案。新型コロナウイルスにより、日本経済が悪化して、登録費等に影響が出始めている。クラブ選手権を中止したことから大会が減収になっている。更に今後も大会が通常開催ができるかわからない。また開催できたとしても、コロナ対策で費用が掛かる上、無観客などによる減収の可能性もある。政府保証を申請し、人件費も含めた経費を削減するが、家賃等必要経費がかり、数か月後に手元資金が尽きる。借り入れも検討しているが、いつ資金が手元に来るかわからないため、定期預金を取り崩し

運営資金としたい。

定款で基本財産に関しては第 33 条と別表 1 となるが、第 33 条は変更せず財産を期してある別表 1 で財産なしと変更したい。定款変更が総会で承認後修正予算を理事会に提案したい。

(質疑・意見)

崇島理事 借り入れを先に検討してはどうか。

渡辺常務理事 政府保証や政策金融公庫の借り入れ等、報道の通りいつ手元に資金が来るかわからない。総会で諮る必要のある定款変更を先に行い、今後の不足に対して迅速に対応できるようにするのが先決だとおもう。

13. 役員推薦委員会について

理事、監事、代議員の任期が 2021 年 6 月予定の総会までとなっている。毎回役員改選に伴い推薦委員会を設け、総会にて役員を推薦している。推薦委員会は総会の決議事項となっているため、今総会で諮りたい。メンバーは規則に従い、会長、事務総長とあと 3 名となっている。今回は二木会長、池田事務総長、石崎副会長、熊谷副会長、関田副会長、渡辺常務理事で提案してみるのはいかがでしょうか？

(質疑・意見)

渡辺常務理事 規則で 5 名であれば、二木会長、池田事務総長、石崎副会長、熊谷副会長、関田副会長の 5 名で提案したらよい。もし自分の意見等必要であれば、オブザーバーとして意見を述べさせてもらう。

以上の後、第 1 号議案「令和 2 年度第 1 回総会について」は開催日時、事業報告、収支決算報告、定款変更については提案のとおり、役員推薦委員会については、二木会長、池田事務総長、石崎副会長、熊谷副会長、関田副会長の 5 名を提案することが全会一致で承認可決された。

第 2 号議案「その他」について

議長はその他について、議場に諮ったが発議、意見はなかった。

(6) 閉会宣言

議長は他に質問、意見がないのを確認し理事会の終了を宣した。

この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事、監事及び指名議事録署名人は次に記名押印する。

令和 2 年 6 月 11 日

公益社団法人 日本新体操連盟 令和 2 年度第 1 回理事会

議事録署名人 (指名) 石 崎 朔 子

議事録署名人 (指名) 熊 谷 正 儀

議事録署名人 (指名) 関 田 史保子